2021/04/12（月）

朝の礼拝

聖書　マタイによる福音書 6章34節（新約聖書11頁）

　だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。

新しい一日

　若い頃、パートナーは私の悩みによく耳を傾けてくれました。ただ最後に、いつも「あなたは自分のことしか考えていない」とか「あなたは欲深だ」と言われました。結構きついひと言でした。でも彼女の言っていることには一理ありました。つまり私が悩んでいたのは、自分の願っていることがほとんどだったからです。

　悩むというのは、自分の狭い世界で自分の願いだけがどんどん膨らんでいることかもしれません。もう少し相手の話を聞き、相手の気持ちを思い、周囲の人のことも考えれば、何も悩むことはなく、最良の道が開け、共に喜べる道が見つかるのにと思います。

　皆さんもよくご存じの『赤毛のアン』の中で、騒ぎを起こしたアンが、尊敬するステーシー先生から励まされる場面があります。

　Remember, we can always start everything fresh tomorrow.

　「忘れないで、明日になればまた全てを新しく始められるのよ」

　するとアンが答えます。

　Tomorrow is always fresh with no mistakes in it.

　「明日はいつも新しい、そしてまだ失敗のない一日ですね」

　過ぎたことを後悔し、あるいは未練に引きずられるよりも、明日という新しい一日を、神様はいつも用意して下さっています。神様は私たちが失敗しながらも成長することを楽しみにされています。今日も、ともに前へ進む一日にしましょう。

（しばらく黙祷しましょう）

　英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。
　あなたは「明日のことまで思い悩むな。・・・その日の苦労は、その日だけで十分である」と言われました。あなたはすべての人に明日という新しい一日を与えて下さいます。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活をお守り下さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン